



かけがえのない大切な一人ひとり

みなさん、こんにちは。昨年の7月3日、岐阜市内の中学校において、「いじめによる自殺」という大変悲しい出来事が起こりました。「そんなことを二度と繰り返すまい」と、今年度から「いじめ対策監」という係が各学校に1名ずつ置かれることになりました。私は、生徒指導主事という係を兼ねながら、このいじめ対策監も担当していきますので、1年間、よろしくお願いいたしますね。

さて、このいじめ対策通信のタイトルを「Heart warming」としました。「心のこもった」「愛情のこもった」など、人をいたわる思いがこめられているさまという意味だそうです。私たち教師が、「**仲間の悲しみや痛みが分かってあげられる人間になってほしい。そして、長森南中からいじめをなくしてほしい。**」と強く願っているからこそ、このタイトルにしました。この1年の中で、何度か発行していきますので、よく読んでほしいと思います。

入学式や始業式で、私が話したことをもう一度確認したいと思います。長森南中の先生たちは、長森南中からいじめをなくすために、次のようなスタンスで臨みます。

かけがえのない大切な一人ひとり ～誰も一人ぼっちにさせない～

すなわち、「長森南中のみなさん一人ひとりを、その一つひとつの命を、大切にしていきます」ということです。そして、その実現のために、みなさんと次の約束を交わします。

- 1 先生たちは頑張る子を応援します。**
→誰も一人ぼっちにさせません。
- 2 仲間の足を引っ張る子には、先生たちはみんなで指導します。**
→校長先生も教頭先生もいじめ対策監も、長森南中の先生みんな、必ず止めます。
- 3 一番相談しやすい人に相談してください。**
→誰でもいいから、自分や仲間のSOSを伝えてほしいです。アンケートや日々の相談などに加え、「SOSBOX」というものも設置します。ピンク色の紙の「SOSカード」を通して、誰にも知られずに、自分の悩みを先生に伝えることができます。また、スクールカウンセラーの先生をはじめ、長森南中のどの先生とも相談ができるようになっています。
- 4 相談されたらその日のうちに問題解決へ向けて、みんなで立ち上がります。**
→必ず24時間以内に、問題解決に立ち上がります。

みなさん一人ひとりが、安心して学校生活を送ることができるように、私たち教師も精一杯取り組みます。困っていることや悩んでいることがあれば、遠慮なく声をかけてくださいね。

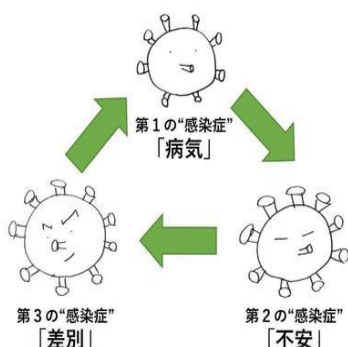
感染した人に寄り添ってあげたいです。

6月2日（火）1時限に、「新型コロナウイルス感染症における、風評による偏見や差別について考える」時間を設けました。資料や動画をもとに、「私たちは、これからどういう行動をしていけばよいのか」を考えました。みなさんの感想や意見を紹介します。

- 「最初に感染したのはあの人だ」「あの人のおかげで感染が広まった」などと、その人が心に傷を負ってしまうようなことは、絶対に言ってはいけません。差別するより、励ましてあげたいです。2年男子
- テレビで、「咳をしている人に対して怒鳴る男性」を観ました。「なんだか嫌だなあ」と感じました。2年女子

- この休校期間中、私も何度か風評による偏見や差別の噂を耳にしました。それについて、家族の中でも話し合いを行いました。私たちの軽率な行動は、誰かを悲しませます。よく考えるべきだと思います。 **3年女子**
- 僕は、今回の学習で、「新型コロナウイルス感染症も怖いけど、人間の方が怖い」と思いました。 **3年男子**
- みんなで感染者を責めて傷つけるのではなく、これ以上感染しないようにみんなで協力していくことが大切だと思います。緊急事態宣言が解除されても、手洗い・うがいやマスクの着用などを忘れずに行っていきたいです。 **2年女子**
- 新型コロナウイルス感染症は、すごく恐ろしい病気です。でも、今回の学習で、ウィルスではない恐怖もあることに気付くことができました。差別だったり争いだったり…。**こんな時だからこそ、助け合ったり支え合ったりしていかないとダメだと思います。**日常を取り戻すために、自分にできることをみつけて、実行していきたいです。 **3年女子**
- 僕たちにできることは、差別や偏見を受けている人たちを応援したり助けたりすることだと思います。**誰もが安心して生活できる社会を目指していきたいです。** **3年男子**
- インターネット上には、真実ではない情報がたくさんあると思います。だから、僕はこれからそんな情報を鵜呑みにするのではなく、一つの意見として取り入れていきたいです。感染した人を責めたりバカにしたりするのではなく、寄り添っていきたいです。 **2年男子**
- 治ったのに会社に行かせてもらえなかったり、インターネットで叩かれたり避けられたりしている人を、テレビで観ました。差別をされたら誰だって嫌な思いはするし、悲しくなると思います。**一人ひとりがもっと新型コロナウイルス感染症について学ぶべきだと思います。**「誰が広めたの？」ではなく、「これからどうしていくか？」を考えていくべきだと思います。 **2年女子**
- 自分が見たり聞いたりした情報を、そのまま信じこんでしまうのではなく、**一度立ち止まって客観的に考える必要がある**と思いました。また、知った情報をすぐ他人に伝えるのも、よく考えてからにした方がよいと思いました。いろんな視点から、一つの情報をみつめていかないとイケません。 **2年女子**
- インターネットのニュースは、不確かなものがあったり、うそを書いたり、大げさに表現していたりすることがよくあると思います。だから、すべてを信じるのではなく、どれが正しくてどれが間違っているのかを、よく考えることが大切だと思います。 **2年男子**
- くしゃみや咳をただで、「あの子コロナなんじゃない?」・・・もし自分が言われたとしたら、すごくショックです。それよりも「大丈夫?」という声をかけていくべきだと思います。感染したことを隠す必要がなくなり、コロナに感染する人が多く減ることにつながると思います。 **1年女子**
- インターネットが発達して、誰でも世の中へ意見を発信できる時代になりました。悪い噂も簡単に流すことができます。**すべての情報を鵜呑みにしないで、根拠のある情報を信じて、過度に反応しないことが大切だと思います。** **3年男子**
- 自分自身も、新型コロナウイルス感染症に感染したくないという思いから、感染者のことを悪く思うことがありました。でも、感染者も感染したくて感染したわけではないし、**差別や偏見によって、病気の苦しみ以上の苦しみを味わうことになります。自分の大切な人を守るために、私たちは変わらなきゃいけないと思います。** **3年女子**

ひとりひとりが気を付けないと
ワタシはこうやって力をつけていくよ…



3つの“感染症”は
つながっている

みなさんが今回の学習で気付いた価値や値打ちについて、赤字にしておきました。現実起きていて、悲しい事実に対して、真摯に受け止め、温かな社会を願うみなさんの優しさがとても伝わってきました。また、最後に掲載した子が書いてくれたように、いじめ(偏見や差別)をつくりだすのも、なくすのも私たち人間です。まずは、私たち自身が変わっていく必要がありますね。短い時間でしたが、本当に実りのある学習になったのではないのでしょうか。